

2019年度事業報告書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

目 次

1. 概況報告	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2019年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	1
1) JAPAN PACK 2019 実行委員会	2
2) JAPAN PACK 2021 実行委員会	3
3) 包装学校企画運営委員会	4
4) 広報推進委員会	5
5) ISO/TC313国内審議委員会	7
6) 技術委員会	8
7) IOT研究会	9
4. 会員等諸会合の開催	11
1) 新年賀詞交歓会	11
2) 歳末特別講演会	11
3) 支部役員会・支部会の開催	11
5. 調査、各種情報事業等に関する事業	12
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	12
2) 技術情報の収集・提供等	12
3) 各種情報の発信等	12
6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業	13
1) 包装学校事業	13
2) 青年部会	13
3) 各種セミナー・講習会	14
7. 国の施策に関する事業	15
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	15
8. その他関連事業	15
1) 包装機械会館の運営に関する事業	15
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	15
3) 福利厚生に関する事業	15
4) 関連産業との連携	15
9. 会員の現況	16
1) 入 会	16
2) 退 会	16
3) 会員登録の変更	16

1. 概況報告

わが国包装機械産業の2018年度の生産実績は4,648億円で、対前年度比4.3%の高い伸びであった。一方2019年度は、米国の景気は堅調に推移したものの、中国の緩やかな景気減速、また米中の貿易問題や消費税増税等の影響もあり、国内外ともに設備投資に減速がみられる。機械統計（経済産業省）の生産高では暦年ベースで3.8%減（確報値）、貿易統計（財務省）の輸出高は4.9%減で推移しており、前年度実績の4,648億円を下回る見込みとなっている。

本年度は、展示会事業をはじめとした収益事業の収益力強化を図るとともに、会員サービスの向上、また公益に資する事業の安定的な運営等、業界の発展と工業会の体制強化に努めた。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

1) 2019年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、2018年度事業報告案の審議・承認、2019年度事業計画の報告を行った。また懇親会を開催し、会員の親睦を図るとともに情報交換を行った。

2019年度定時総会

月 日：2019年5月29日（水）

会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

出席者：108名（委任状による出席も含む）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、2019年5月、9月、12月、2020年3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の業務執行状況等の確認・審議・承認を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

第344回理事会

月 日：2019年5月29日（水）

会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

第345回理事会

月 日：2019年9月13日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

第346回理事会

月 日：2019年12月4日（火）

会 場：欽山 ロビー階「福寿」（兵庫県神戸市北区）

第347回理事会【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、書面決議】

月 日：2020年3月13日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、ISO/TC313国内審議委員会、技術委員会、IOT研究会を逐次開

催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

1) JAPAN PACK 2019 実行委員会

JAPAN PACK 2019 実行委員会(委員長:亀田 稔氏 トキワ工業株式会社社長)は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的として、2019年10月29日(火)から11月1日(金)までの4日間、当展開催史上初めて幕張メッセ(千葉県千葉市)において「JAPAN PACK 2019」(日本包装産業展)を開催した。

今回より“日本包装産業展”と日本語名称を改称し、「きっとみつかる、あなたの包程式」のテーマのもと、製造加工から計量・充填・包装・印刷・印字・検査・梱包さらには物流・環境・要素技術など、生産ライン全体の関連技術が一堂に会する総合展示会として、464社より2,292小間の出展を得て、需要業界が抱える課題の解決案をトータルに展示公開。登録来場者は会期4日間で33,539名を記録した。

併催企画においても既存企画の拡張と新規企画の充実に取り組み、関係業界における有識者を講師に招聘して42の講演会および専門セミナーを実施の他、製造の上流工程から実際に消費者の手に渡るまでの流れを実機およびパネルで可視化した「ライン展示コーナー」、海洋プラスチックごみ問題の解決へ向けた取り組み事例を公開した「CLOMA展示コーナー」、先進的かつ画期的な商品包装が展示された「JPC受賞製品展示コーナー」等の企画展示コーナーも設置。さらに、スマートフォン用アプリ「JPアプリ」の新規採用により、会期前・中における情報発信力の強化と情報入手の利便性を向上させ、出展・来場両社間におけるビジネスマッチングのより一層の促進を図った。なお、開催準備にあたり下記のとおり委員会活動を推進した。

第9回正副実行委員長会議

月 日：2019年 4月17日(水)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：出展申込状況・併催企画案進捗状況、出展者説明会・実施概要記者発表会の開催概要、小間割原案・関連企画会場割案について討議

第4回実行委員会

月 日：2019年 4月17日(水)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：出展申込状況・併催企画案進捗状況、出展者説明会・実施概要記者発表会の開催概要、小間割原案・関連企画会場割案について承認

出展者説明会

<東京会場>

月 日：2019年 5月22日(水)

会 場：CIVI研修センター日本橋(東京都中央区)

<大阪会場>

月 日：2019年 5月23日(木)

会 場：第二吉本ビルディング貸会議室(大阪市北区)

第10回正副実行委員長会議

月 日：2019年 8月 6日(火)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：記者発表会の開催概要、会期中の役割分担、新企画・新サービスを活用した来場誘致の促進について討議

第5回実行委員会

日 時 2019年 8月 6日(火)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：出展申込状況および各種活動状況、今後の主要スケジュール、新企画・新サービスを活用した来場誘致の促進について討議

実施概要記者発表会

月 日：2019年 9月12日(木)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

JAPAN PACK 2019(日本包装産業展)

月 日：2019年10月29日(火)～11月1日(金)

会 場：幕張メッセ(千葉県千葉市)国際展示場2-8ホール・国際会議場

JAPAN PACK 2019報告会

月 日：2019年11月21日(木)

会 場：富士山温泉 ホテル鐘山苑(山梨県富士吉田市)

内 容：開催実績総括および次回展へ向けた改善案について討議

2) JAPAN PACK 2021 実行委員会

JAPAN PACK 2021 実行委員会(委員長：山本 治男 氏 株式会社東京自働機械製作所 社長)は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的として2021年10月に開催する「JAPAN PACK 2021」(日本包装産業展)の開催準備に係る各種委員会活動を推進した。

JAPAN PACK 2021 は、2021年10月5日(火)～8日(金)までの4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)に会場を戻して開催を計画中。最新の包装機械関連技術を中心に500社・2,500小間の展示公開を通じて、食品、医薬品、日用品、工業製品をはじめ多様な商品の製造業界および流通・小売業界において喫緊の課題である人手不足解消、製造・物流コスト低減、省エネ・省資源化、消費期限延長、安全安心・衛生性向上等の解決策を「包程式」として提案し、商品力向上や販売力促進等の価値創出を目指す。また、講演会や専門セミナー等の特別企画の併催により、サプライチェーンをつなぐ包装の重要性や取り組みを発信する。目標来場者数は会期4日間で50,000人を目論む。

第1回正副実行委員長会議

月 日：2019年12月16日(月)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：開催概要案および全体計画案、事業収支計画案、実行委員体制案につい

て討議

第2回正副実行委員長会議

月 日：2020年 1月15日（水）

会 場：パレスホテル東京（東京都千代田区）

内 容：実行委員派遣依頼状況、開催方針案の策定について討議

第3回正副実行委員長会議

月 日：2020年 2月 3日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：開催指針案、強化分野・機能および役割分担、事業収支計画案について
討議

第1回実行委員会

月 日：2020年 2月 3日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：実行委員会体制案および開催概要案、開催指針案について討議

第4回正副実行委員長会議【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止】

月 日：2020年 3月25日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

第2回実行委員会【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止】

月 日：2020年 3月25日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

3) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 上級執行役員）は、本年6月から開講の第46期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

第100回包装学校企画運営委員会

月 日：2019年6月4日（水）

会 場：包装機械会館 2階 会議室

内 容：第46期受講生申込状況の報告（134名の受講申込）
オリエンテーション研修テーマ及び委員の開校式・
オリエンテーション役割を決定。

包装学校企画運営委員会 資格認定委員会

月 日：2019年6月27日（木）

会 場：天の丸 住所：愛知県額田郡幸田町萩字遠峰

内 容：第45期の資格認定委員会

優秀賞

（片岡物産(株) 小杉 章則氏）（株）フジキカイ 板倉 亮太氏）を選
出。

優秀論文賞

（株）フジキカイ 山中 祐佳氏）（味の素食品(株) 山北 敬太氏）

(CKD(株) 外山 智也氏)(片岡物産(株) 小杉 章則氏)を選出。
JP2019パネルディスカッション(人材育成)パネリスト候補
の絞り込み

第101回 包装学校企画運営委員会

月 日：2019年11月15日(金)

会 場：包装機械会館 2階 会議室

内 容：2020年度第47期包装学校 講師及び日程の決定。
仮題「IT技術(IOT、AI、ビッグデータ)の現状と将来」の新設を検討。
マイクロコンピュータ制御課程 VB言語講座、C言語講座は、
講師(槌屋氏)高齢辞退により終了。
修了生フォローアップの検討。

第102回包装学校企画運営委員会

月 日：2020年1月29日(水) 15:00 - 17:00

会 場：包装機械会館 2階 会議室

内 容：第46期ディスカッションテーマの選定及び修了式での委員役割分担

包装学校企画運営委員会 JP2019企画

月 日：2019年10月31日(木)

会 場：幕張メッセ 企画プレゼン会場

演 題：「人材育成に関するパネルディスカッション」

パネリスト：

一岡 幹朗氏	大森機械工業(株)	取締役上級執行役員	管理本部長
西田 麻美氏	(株)プラチナリンク	代表取締役	
坂巻 千尋氏	凸版印刷(株)	経営企画本部	部長
田村 正規氏	三立製菓(株)	労務課	課長
小杉 章則氏	片岡物産(株)	生産管理部	担当課長

4) 広報推進委員会

広報推進委員会(委員長：山本 治男 氏 株式会社東京自働機械製作所 社長)は、以下の本委員会活動を通じて、国内外に向けて日本包装機械工業会(ジャパンプランド)を広くアピールし、関連業界等の連携強化を図りながら当工業会ならびに会員企業の価値向上に繋がるための活動推進に努めた。

第2回学内ミニ合同企業説明会

月 日 2019年4月18日(木)

会 場 東京工科大学 八王子キャンパス(東京都八王子)

内 容 合同企業説明会・教職員との名刺交換

参加社 21社

第9回広報推進委員会

月 日 2019年5月16日(木)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：直近活動実績報告、2019年度計画案、JAPAN PACK 2019に係る広報活動の推進について討議

『パッケージ&マシン通信』創刊

創刊日：2019年4月25日（木）

体裁：A4版/PDF形式

配信：登録者へEメール配信

概要：当会機関媒体「パッケージ&マシン通信」を4月25日に創刊。以後毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報を推進

海外展示会における工業会活動PRの推進

ProPak Asia 2019日本パビリオン

月日：2019年6月12日（水）～15日（土）4日間

会場：BITEC（タイ・バンコク）

規模：17社・団体 / 480㎡

○Japanセミナー 一般社団法人日本食品機械工業会との共同企画

月日：2019年6月13日（木）

会場：BITEC（タイ・バンコク）

テーマ：Japanese solutions for food industry in Thailand

聴講者：タイ現地ユーザー等76名

第10回広報推進委員会

月日：2019年8月9日（金）

会場：包装機械会館（東京都中央区）

内容：直近活動実績報告および計画案、JAPAN PACK 2019に係る広報活動の推進について討議

第11回広報推進委員会

月日：2019年10月1日（火）

会場：包装機械会館（東京都中央区）

内容：直近活動実績報告および計画案、JAPAN PACK 2019各種併催企画・行事について討議

JAPAN PACK 2019各種講演会・セミナー

月日：2019年10月29日（火）～11月1日（金）4日間

会場：幕張メッセ 国際展示場 / 国際会議場（千葉県千葉市）

講演数：42講演

聴講者：合計3,969名 / 42講演合計

JAPAN PACK 2019就活サポートコーナー

月日：2019年10月29日（火）～11月1日（金）4日間

会場：幕張メッセ 国際展示場（千葉県千葉市）

株式会社ダイフク「日に新た館」見学会

月 日：2019年11月27日（水）
会 場：株式会社ダイフク「日に新た館」（滋賀県蒲生郡）

第12回広報推進委員会

月 日：2019年12月9日（月）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：直近活動実績報告、JAPAN PACK 2019併催企画・行事の結果報告、今後の活動計画案の具体化（今年度計画・次年度主要企画）について討議

第13回広報推進委員会

月 日：2020年2月14日（金）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：直近活動実績報告および活動計画案、2019年度事業報告案、2020年度事業計画案について討議

5) ISO/TC313 国内審議委員会

昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、長岡技術科学大学の福田教授（システム安全専攻）を委員長に国内審議委員会活動及び国際会議への参加を実施した。

ISO国内審議委員会 第3回委員会

月 日：2019年7月16日（火）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：EN415-10（包装機械の一般事項）をベースとしたドラフト版ISO/TC313/WG1 N7に対する意見28件を一件毎に提案又は質問するか否かを審議。結果、提案又は質問をする10件をISO国際会議へ提出を決定。

ISO国内審議委員会 第4回委員会

月 日：2019年8月20日（火）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：各国（Pメンバー：11カ国、Oメンバー12カ国）よりISO/TC313/WG1 N7に対する154項目のコメント（意見）の確認。
反対すべき項目や対策準備をe-mail審議をおこない、最終案を提出。

ISO国際会議対応委員会

月 日：2019年10月3日（木）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：ISO/TC313/WG1 N7に対する各国の意見（154項目）の対策を項目毎に審議、決定。

ISO/TC313 国際会議

月 日：2019年10月22日～24日
場 所：イタリア/ミラノ
出張者：長岡技術科学大学 システム安全専攻 教授 福田隆文氏
大森機械工業(株) 品質管理部 マネージャー 江口孝男氏

(株)フジキカイ 技術本部開発部 技術主幹 齋藤 勲氏
参加国：アメリカ、イギリス、イタリア、スイス、スウェーデン、
ドイツ、フランス、中国、日本（3名+通訳1名）
内 容：ISO/TC313/WG1N7に対する各国の意見（154項目）
の審議。結果、議論は半分以下。

次回の国際会議の日程（Date of the next meeting）

第3回 ISO/TC313/WG1会議：2020年5月5日～7日ドイツ/フランクフルト

第4回 ISO/TC313/WG1会議：2020年10月21日～23日イタリア/ミラノ

ISO国内審議委員会 第5回委員会

月 日：2019年12月18日（水）

会 場：包装機械会館 2階会議室

内 容：ISO/TC313国際会議（10月22日～24日 イタリア/ミラノ）
の報告 委員長（福田氏）

国際会議出席者（江口氏、齋藤氏）の補足報告

ISO国内審議委員会 JP2019企画

月 日：2019年11月 1日（金）

会 場：幕張メッセ 企画プレゼン会場

演 題：「包装機械のISO化とユーザーにも知っていただきたい機械安全」
福田 隆文氏 長岡技術科学大学 システム安全先行 教授

6) 技術委員会

技術委員会（委員長：伊早坂 嗣氏 株式会社川島製作所社長）は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化への対応や産学・産産連携、講演会・セミナー等を計画し実施した。

2019年度 第1回委員会

月 日：2019年5月8日（火）

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：2019年度 技術委員会 事業計画について
JP2019主催者企画技術セミナーの検討

2019年度 第2回委員会

月 日：2019年7月24日（水）

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：IOT研究会、ISO国内審議委員会の進捗報告
JP2019主催者企画技術セミナー(案)及びCLOMAについての説明
特別レクチャー及び意見交換会

演題：「ロボット技術が支える医療用漢方製剤 製造工場」

講師：橋ヶ谷修司氏 元(株)ツムラ 生産本部 生産技術開発センター
センター長 現：(株)東陽機械製作所 顧問

オムロン(株)草津工場 見学会

月 日：2019年8月27日（火）

会 場：オムロン(株)草津工場 滋賀県草津市西草津2-2-1
内 容：基板実装工程、ビッグデータ活用事例、製品組立工程（セルライン）、
ロボットによるMT化事例、ロボット事業の方向性紹介、
オートメーションセンタ デモ機見学

2019年度 第3回委員会

月 日：2019年10月 9日（水）
会 場：包装機械会館 2F会議室
内 容：ISO国際会議対応、JP2019アワード、JP2019IOTパネル展示の進捗報告。
技術委員会 議題・組織再編成については、議題を（環境問題）と（自動化）に絞って、包材系テーマと自動化系テーマの2チーム編成とする。

2019年度 第4回委員会

月 日：2019年12月17日（火）13：30 - 17：00
会 場：包装機械会館 2F会議室
内 容：凸版印刷 研究開発部門 加藤武男氏の講演及び意見交換
持ち越し議題の組織決定及びディスカッション

2019年度 第5回委員会

月 日：2020年 2月 6日（木）
会 場：包装機械会館 1F会議室
内 容：包材系テーマと自動化系テーマの具体的ディスカッション
来期2020年度計画について

技術委員会 JP2019企画

月 日：2019年10月31日（木）
会 場：幕張メッセ 企画プレゼン会場
演 題：「縦ピロー包装機の活用知識とこれからの可能性」
窪井 宏行氏 (株)川島製作所 技術部 課長
「メカトロ化への取り組み事例と技術の応用」
増田 和馬氏 ゼネラルパッカー(株) 開発部企画開発課
「中小企業のIoT化支援事業の紹介」
大原 衛氏（独）東京都立産業技術センター IoT開発センター長

7) IoT研究会

東京都立産業技術研究センターIoT支援の基、「IoT研究会」を発足した。
目的は、今後、求められる業界共通の課題や長期的な問題に対してIoTを切り口として、一つでも解決へ導き、包装産業業界に求められるIoTの活用を目指す。

第一回 IoT研究会

月 日：2019年4月23日（火）
会 場：東京都立産業技術研究センターIoT支援サイト
内 容：IoT支援サイトの見学

IOT研究会計画の策定

第二回 IOT研究会

月 日：2019年5月31日（金）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：業界共通課題の絞込み（集約）作業

IOT研究会 事前打合せ会

月 日：2019年6月21日（金）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：JP2019パネル展示項目の絞込み及び決定。

第三回 IOT研究会

月 日：2019年7月11日（木）
会 場：東京ビックサイト 西1H - 商談室（2）
内 容：JP2019パネル展示仕様の審議
JP2019企画ライン実機展示とIOTパネル展示とのリンク打合せ

第四回 IOT研究会

月 日：2019年9月10日（火）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：JP2019パネル展示の詳細仕様の決定
JP2019作業担当、プレゼンテーション、等の確認

第五回 IOT研究会

月 日：2019年10月16日（水）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：JP2019作業担当、プレゼンテーション、レセプション、
パネル説明員の決定。
JP2019IOTパネル展示アンケート実施を決定。

第六回 IOT研究会

月 日：2019年12月11日（水）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：JP2019IOTパネル展示の振り返りとアンケート分析
今後の活動について

第七回 IOT研究会

月 日：2019年2月20日（木）
会 場：包装機械会館 2階会議室
内 容：来期のIOT研究会計画について
P&M通信寄稿について

IOT研究会 JP2019企画

月 日：2019年10月29日（火）～11月 1日（金）
会 場：幕張メッセ 第5ホール
展 示：「IOTパネル展示」8パネルを展示

業界課題 生産管理モニタ リモートメンテナンス ドライブレコーダ
マルチビュー 作業支援 R F I D 近未来

月 日：2019年10月29日（火）

内 容：幕張メッセ 企画プレゼン会場

演 題：「IoTパネル展示プレゼンテーション」

プレゼンター：

小高篤史氏	(株)川島製作所	技術部技術横型ユニット
木瀬史祐氏	(株)京都製作所	技術開発本部
山崎正宣氏	(株)ケーテ製作所	技術部電気設計グループリーダー
大熊 徹氏	(株)東京自働機械製作所	設計開発部 技術・特許課
石川直樹氏	大森機械工業(株)	技術生産本部研究開発室
石井孝幸氏	東京施設工業(株)	設計部 設計課主任
山本政治氏	ゼネラルパッカー(株)	技術部電子制御課マネージャー

4. 会員等諸会合の開催

2019年度事業計画に基づき、総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部役員会・支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

1) 新年賀詞交歓会

関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の2020年新年賀詞交歓会を開催した。

月 日：2020年1月15日（水）

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

出席者：499名

2) 歳末特別講演会

事業計画に基づき、2019年度歳末特別講演会を兵庫県神戸市で開催した。

2019年度歳末特別講演会

月 日：2019年12月4日（火）

会 場：欽山（兵庫県神戸市北区）

西館5階「吉祥」

テーマ：「日本酒の魅力発信とMiss SAKE活動紹介」

講 師：2019 Miss SAKE 春田 早重氏

一般社団法人ミス日本酒 専務理事 大西 美香氏

出席者：53名

3) 支部役員会・支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として関東支部役員会・支部会、関西支部役員会・支部会、中部支部役員会・支部会を開催し、2019年度事業報告案ならびに2020年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、2020年度事業計画への反映に努めた。

なお、本年は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催を中止した、また出席予定者に対し、メールでの報告ならびに情報提供をおこなった。

第22回関西支部役員会・第59回関西支部会

【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止】

月 日：2020年3月3日（火）

会 場：第二吉本ビルディング貸会議室（大阪市北区）

第42回中部支部役員会・第41回中部支部会

【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止】

月 日：2020年3月4日（水）

会 場：名古屋コーチン一鳳にしき（名古屋市中区）

第23回関東支部役員会・第41回関東支部会

【新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止】

月 日：2020年3月9日（月）

会 場：包装機械会館 会議室

5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、パッケージ&マシン通信・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開しわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、2018年度の生産高と輸出入高ならびに2019年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」（日本語版）を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

尚、英語版は平成29年2月中旬で販売を中止している。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体「パッケージ&マシン通信」の発信に関する事業

当会機関媒体「パッケージ&マシン通信」を4月25日に創刊。以後毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

(2) 電子媒体の活用に関する事業

IT委員会での決定に基づき、日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー（日本語・英語・中国語）」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業

1) 包装学校事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第46期包装学校を開講した。本年度は、2019年6月の開講式・オリエンテーションから2020年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第46期までの修了者は4,878名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

第46期包装学校の課程別受講生（計134名）

- | | |
|-----------------------------------------|-----|
| 1) 包装機械設計技術専門課程 | 67名 |
| 2) パッケージングエンジニア専門課程 | 60名 |
| 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 | 7名 |
| Visual Basic 講座 C言語講座 PLCメカトロ制御講座 | |

【第1期から第46期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	46期	1～46期計	46期	1～46期計
1. 包装機械設計技術課程	67	2852	65	2741
2. パッケージングエンジニア課程	60	2040	60	1946
3. マイコン制御技術課程	7	281	6	191
合計	134	5173	131	4,878

注) マイコン制御技術課程の修了者数は3講座受講した場合のみ。

第46期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：2019年6月21日（木）～22日（金）

会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

2) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：安達 拓洋氏 イーデーエム株式会社社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。なお、本年度は協同組合日本製パン製菓機械工業会との共同事業として「第1回」JBCM・JPMA青年部会交流会」を実施し、「パン菓子産業の成長に向けて」をテーマに意見交換を行った。

工場見学会

月 日：2019年5月14日（火）

会 場：安川電機ロボット工場みらい館（福岡県北九州市）

2019年度定時総会

月 日：2019年5月14日（火）

会 場：博多華味鳥 中洲本店（福岡県福岡市）

内 容：1）2019年度事業報告書（案）の承認について
2）任期満了に伴う役員の改選について
3）2019年度事業計画書（案）の承認について

夏季セミナー

月 日：2019年8月21日（水）～22日（木）

会 場：ベルエールの森（群馬県吾妻郡）

主 題：「え？俺が社長をやるの？」血縁の無い事業継承とは・・・

講 師：花田 雅史 氏 株式会社ヤマノ 代表取締役社長

第1回JBCM・JPMA青年部会交流会

月 日：2019年11月26日（火）

会 場：KKRホテル東京（東京都千代田区）

内 容：「パン菓子産業の成長に向けて」をテーマに意見交換会を実施

新年情報交換会

月 日：2020年1月14日（火）

会 場：鮎忠 花川戸店（東京都台東区）

第69回幹事会

月 日：2020年2月12日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：1）2019年度事業報告書（案）の承認について
2）任期満了に伴う役員の改選について
3）2020年度事業計画書（案）の承認について

工場見学会

月 日：2020年2月19日（水）

会 場：セイカ食品株式会社 日置工場（鹿児島県日置市）

青年部会名簿（電子版）の体裁刷新および適宜更新

3）各種セミナー・講習会

（1）厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、（一社）安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を開催した。

職業能力開発総合大学校（東京都小平市）

機械の安全化と国際安全規格編（2日）

2019年12月12日、13日

機械安全におけるリスク低減編（2日）

2020年1月23日、24日
リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 (2日)
2020年2月19日、20日
電気制御システム編 (2日)
2020年3月5日、6日

(2) IEC 60204-1 / JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

2019年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し下記日程で開催した。

関東会場	高度ポリテクセンター	2019年11月19日、20日 2019年11月25日、26日
関西会場	ポリテクセンター関西	2020年 2月26日、27日

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は2016年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、2016年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は6,243通で、その内訳は正会員4,304通、賛助会員610通、非会員1,329通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行(1,563通)の内訳は次の通りである。

正会員	1,072通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)
賛助会員	132通(同上)
非会員	359通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザリー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

4) 関連産業との連携

包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携をはじめ、官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努めた。

(1) 一般社団法人日本食品包装協会との連携

一般社団法人日本食品包装協会の「食品包装検定」に協賛し、当会館で検定試験を実施した。

(2) 東京工科大学工学部との連携

包括連携協定を締結している東京工科大学工学部と共同で「学内ミニ合同企業説明会」を実施した。

(3) CLOMAに関する事業

昨年度に加入した、地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみの問題に対する官民連携「CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)」において活動を行った。また JAPAN PACK 2019 において CLOMA ブースを誘致し、CLOMAの活動をPRした。

9. 会員の現況

2020年3月31日現在の会員数は正会員140社、賛助会員118社、合計258社となっている。2019年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入 会

<正会員 2社>

株式会社印南製作所、株式会社サトー

<賛助会員 6社>

伊東電機株式会社、ヴィッテンシュタイン株式会社、SMC株式会社、ストロパックジャパン株式会社、多賀電気株式会社、ベッコフオートメーション株式会社

2) 退 会

<賛助会員 7社>

テクマン工業株式会社、株式会社グランパックス、東洋紡株式会社、日本機械商事株式会社(西日本)、スズキ機工株式会社、株式会社北村製作所、オートメイデッド・パッケージング・システムス・ジャパン合同会社

3) 会員登録の変更

カイノス株式会社(旧・木下鉄工株式会社)

シンテゴンテクノロジー株式会社(旧・ボツェルパッケージングテクノロジ-株式会社)

ブラザーインダストリアルプリンティング株式会社(旧・ユーズテクノロジ-株式会社)